

# 親子でみるコレクション展 やきもの妖怪、参上！

プレス・リリース

平成26年8月1日（金）－8月31日（日）



やきもの妖怪、参上！  
(キヤッチコピー)

十二代 三輪休雪〈日蝕〉1977年 茨城県陶芸美術館 寄託

## 茨城県陶芸美術館

〒309-1611 茨城県笠間市笠間2345番地（笠間芸術の森公園内）

TEL 0296-70-0011 / FAX 0296-70-0012

<http://www.tougei.museum.ibk.ed.jp/>

## 1 展覧会名

### 親子でみるコレクション展 やきもの妖怪、参上！

## 2 開催趣旨

A：一言でいうと（63文字）

当館所蔵品および寄託作品から 30 点を展示し、作品自身が「やきもの妖怪」としてしゃべっているかのように親しみやすく紹介します。

B：もう少し丁寧にいうと（214文字）

日本には年月を経た道具類が「つくも神」のような妖怪となるという民間信仰があり、現在も針供養のような形で受け継がれています。また道具類の妖怪がいきいきと描かれた絵画もたくさん残っており、人々が古くから道具に魂を見いだしていたことが知られています。本展は当館所蔵品および寄託作品から 30 点を展示し、作品自身が「やきもの妖怪」としてしゃべっているかのように紹介します。

完成してびっくりの「やきもの妖怪スタンプラリー」も実施。

C：詳細にいうと（429文字）

日本には年月を経た道具類が「つくも神」のような妖怪となるという民間信仰があり、現在でも針供養のような形で受け継がれています。また室町時代の「百鬼夜行絵巻」（大徳寺真珠庵蔵、重要文化財）をはじめ道具類の妖怪がいきいきと描かれた絵画も数多く残っており、人々が古くから道具に魂を見いだしていたことが知られています。

やきものも、もとは生活の道具として作られました。現代でも子どもたちにとってまず思いつくのは、毎日の食卓で使っているお皿やお茶碗などでしょう。しかし明治時代以降は、道具としてのやきものだけでなく、鑑賞を目的としたやきものも数多く作られてきました。

本展は当館所蔵品および寄託作品から 30 点を展示し、作品自身が「やきもの妖怪」としてしゃべっているかのように親しみやすく紹介しますので、是非親子でお楽しみ下さい。

小さいお子さんも楽しめるよう、完成してびっくりの「やきもの妖怪スタンプラリー」も実施します。

## 3 展示構成

出品総数 30 点※会場の都合により、若干点数が変わることがございます。予めご了承下さい。

第1章 やきもの妖怪、参上！－やきものは「つぼ」「おちゃわん」だけではないぞー  
所蔵作品、寄託作品のうち、鑑賞を目的としたやきものを「何万年もの地球のパワーがいっぱい詰まっている大地の土を炎で焼いて作られる最強の妖怪」として紹介します。

第2章 やきもの妖怪は語る！－「つぼ」や「おちゃわん」だって単なる道具ではないぞー

伝統工芸に関する人間国宝の作品を、「人間国宝」「銘」「箱書」をキーワードとして展示し、日本では茶碗などをただの道具として使い捨てるのではなく、大切に伝える文化が形成されたことなどについても紹介します。

#### 4 主な作品

##### 第1章

- ・初代 宮川 香山《色絵金彩猫図鼠高浮彫花瓶》19世紀後期 茨城県陶芸美術館蔵
- ・安原 喜孝《印刻文「施律」》1983年 茨城県陶芸美術館蔵
- ・十二代 三輪 休雪《日蝕》1977年 茨城県陶芸美術館 寄託
- ・小松 誠《クリンクルシリーズ、スーパーバッグ (SK-2)》1975年 茨城県陶芸美術館蔵
- ・兼田 昌尚《陶' 09 - 3》2009年 茨城県陶芸美術館蔵

##### 第2章

- ・富本 憲吉《色絵金銀彩菱四弁花蓋付飾壺》1962年 茨城県陶芸美術館蔵
- ・荒川 豊藏《瀬戸黒茶壺 銘 黒尉》 1970-1974年頃 茨城県陶芸美術館蔵

#### 5 会期・会場等

会 期：平成26年8月1日(金)～8月31日(日) (27日間)

会 場：茨城県陶芸美術館 地階企画展示室 (企画展示室の前半半室)

開館時間：午前9時30分から午後5時まで (入館は午後4時30分まで)

休 館 日：月曜日

#### 6 主催：茨城県陶芸美術館

#### 7 観覧料

一般 310(260)円, 高大生 260(210)円, 小中 150(120)円

\* ( ) 内は20名以上の団体料金。満70歳以上の方, 障害者手帳, 療育手帳をお持ちの方及び付き添いの方 [ただし1人につき1人まで] は無料。

#### 8 関連催事 \*詳細は後日, ホームページ等にてお知らせします。

○やきもの妖怪スタンプラリー (会期中毎日)

○親子で楽しむギャラリートーク ※常設展チケットが必要です。

担当学芸員が展覧会をわかりやすくご案内。

日時：8月7日(木), 9日(土) (陶風鈴・陶笛ワークショップ開催日)

各日とも午前10時～10時30分

午後2時～2時30分

8月16日(土)

午後1時30分～2時

#### 9 連絡先

茨城県陶芸美術館 〒309-1611 笠間市笠間 2345 番地 (笠間芸術の森公園内)

TEL.0296-70-0011 / FAX.0296-70-0012

展覧会担当 学芸課 主任学芸員 今瀬 佐和 [imase.sawa@mail.ibk.ed.jp](mailto:imase.sawa@mail.ibk.ed.jp)

広報担当 企画管理課 首席学芸主事 中島 淳 [kouhou@tougei.museum.ibk.ed.jp](mailto:kouhou@tougei.museum.ibk.ed.jp)

「親子でみるコレクション展 やきもの妖怪参上！」プレス・リリース用写真データ  
掲載希望作品を広報担当：中島 e-mail:kouhou@tougei.museum.ibk.ed.jp までご連絡ください  
写真を掲載する際には、作品キャプションを併記してください。  
(※茨城県陶芸美術館蔵、茨城県陶芸美術館寄託も個々に記してください。)



小松 誠《クリンクルシリーズ、  
スーパーバッグ (SK-2)》1975 年  
茨城県陶芸美術館蔵



初代 宮川 香山《色絵金彩猫鼠高浮彫花瓶》  
19 世紀後期 茨城県陶芸美術館蔵



安原 喜孝《印刻文「施律」》1983 年  
茨城県陶芸美術館蔵



兼田 昌尚《陶' 09 - 3》2009 年  
茨城県陶芸美術館蔵



荒川 豊藏  
《瀬戸黒茶壺 銘 黒尉》  
1970-1974 年頃  
茨城県陶芸美術館蔵



富本 憲吉《色絵金銀彩菱四弁花蓋付飾壺》  
1962 年 茨城県陶芸美術館蔵

